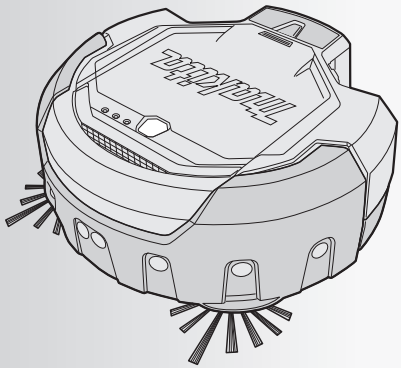
makita

ロボットクリーナ

取扱説明書

モデル

RC200D



使用可能バッテリ
・BL1830B(容量3.0Ah)
・BL1850B(容量5.0Ah)
・BL1860B(容量6.0Ah)

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

もくじ

		ページ
はじめに	充電に関する安全事項	2
	安全上のご注意	4
	お願い	7
	各部のなまえ・付属品	8
	操作部の見かた	
	● 本体ボタン/表示部	10
	● リモコン	10
準備	準備する	
	● サイドブラシを取り付ける	11
	● リモコンに電池を入れる	11
	● バッテリ(別販売品)を取り付ける	12
	● バッテリ残容量ランプの見かた	12
	● 電源について	13
使い方	お掃除の前にお読みください	14
	掃除する	
	● 運転モードについて	18
	● 運転のしかた	19
	● ブザー音の音量設定のしかた	20
	位置おしらせ機能を使う	21
	入タイマー・切タイマーを設定する	22
	センサウォール機能を使う	24
お手入れ	ゴミを捨てる	25
	お手入れする	
	● ダストボックス・フィルタ	26
	● サイドブラシ	27
	● 回転ブラシ	28
	● 本体	29
	● 車輪類	29
必要なとき	こんなときは?	30
	お知らせ表示	32
	別販売品のご紹介	34
	仕様	裏表紙
	マキタ保証書	裏表紙

充電に関する安全事項

⚠ 警 告

a) 電気に関する安全事項

1 充電器の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、電源プラグをアダプタプラグなどで接続しないでください。
- 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

2 充電機器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したりしないでください。
- 充電機器内部に水が入り、感電する恐れがあります。

3 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、絡まって感電する恐れがあります。

4 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

b) 電動機器の使用とお手入れ

1 充電機器の誤始動を防ぐために、次の作業前は電源を切り、バッテリを本機から抜いてください。

2 コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

c) 充電機器の使用とお手入れ

1 各ボタンを押したままバッテリを差し込まないようにしてください。
- 各ボタンを押したままバッテリを差し込むと事故につながります。

2 バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
- ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

3 マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ(分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む)を使用しないでください。
- 本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

4 バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
- 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

5 バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
- バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 本機または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください。

6 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
- 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で充分洗い医師の治療を受けてください。
- バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

d) 整備

1 充電機器は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- 本体、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

e) その他の安全事項

1 損傷した部品がないか点検してください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  <異常・故障例>
  ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  ・電源コードに深いキズや変形がある。
  ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- 電源を入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

2 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。

3 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。

4 ご使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

5 ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

6 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがない。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

7 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

8 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

9 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

10 バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

11 バッテリに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

12 バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

13 正しく充電してください。
- 周囲温度が10℃未満、または周囲温度が40℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。バッテリや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。

14 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。
- 発煙・発火・感電の恐れがあります。

15 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

注　電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために充分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ(公称断面積)と長さの目安

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの長さの目安
2.0mm^2	30m

安全上のご注意 1 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、
お守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
⚠ 注意	「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけないこと。	❗ しなければならないこと。

⚠ 警告 感電・火災・漏電・大けがを防ぐために

使用できない場所・吸わせてはいけない物

⃠

● **引火性のある物のそばで使用しない、吸わせない**
- 灯油・ガソリン・線香・ろうそく
- ベンジン・シンナー
- タバコの吸殻
- トナーなどの可燃物
- じゅうたん洗浄剤などの泡状の物など
  (爆発や火災の原因)

● **水まわり・トイレ・風呂場・屋根裏など濡れた場所や、濡れるおそれがある場所、 高温多湿の場所での使用や水の吸い込みは絶対にしない また、屋外やストーブなどの暖房器具の周辺では使用しない**
(感電やショート・発火・変形・故障の原因)

● **ゴミ以外は吸わせない また、次の物を吸わせない**
- 液体や湿ったゴミ
- 薬品類・油類
- 動物などの排泄物
- 大量の砂や粉末
- 鋭利な物(ガラス・刃物・ピンなど)
- 大きな紙やビニールゴミ・ひも類

(内部の傷付きやゴミの詰まり・故障の原因)

● **囲いのない高所や、階段などの幅が狭い場所では使用しない**
(本体の落下によるけがや故障の原因)

● **次の場所でも使用しない**
- 食用油など油成分が浮遊している場所
- 理･美容院・クリーニング店など、スプレーや化学薬品を使う場所
- 屋外

(故障の原因)
- 製品の操作が適切にできない人や幼児・乳幼児がいる場所
- 動物などがいる場所
- 人が多いところや、出入りの多い場所

(感電・事故・けがの原因)

異常・故障時にはただちに使用を中止する

(発煙・発火・感電の原因)

❗
- 電源を入れても、ときどき運転しないことがある。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- 運転中ときどき止まる。
- 運転中に異常な音がする。
- こげくさいニオイがする。

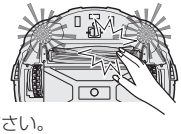
▶ すぐに本体の電源を切り、「こんなときは?」(30, 31 ページ) をご確認いただいてから、お買いあげの販売店、または当社営業所に点検をご依頼ください。

ご使用時・お手入れ時は

- **本体が接触して事故をまねくおそれのある物は移動させる** (14ページ)
  - テーブルや棚の上にある火のついたろうそくや花瓶など。
    (本体が当たった衝撃で落下する場合があります)
  - 本体が引きずったりする可能性のあるゴムバンドなど。
  - 本体と同じくらいの高さに操作部がある設備や機器。(本体が当たって操作部を押す場合があります)

  (火災・けが・事故の原因)
- **お手入れ・点検時には、必ず本体の電源を切り、バッテリをはずす** (感電やけがの原因)
- **お手入れ時は、指をはさまれないように注意する** (けがの原因)
- **植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から15cm以上離して使用する**
  電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。 (医療機器の誤作動の原因)
- **医療機関内での電波を発する機器の使用については、各医療機関の指示に従う**
  使用を禁止されている場所では、本体の電源を切ってください。 (医療機器の誤作動の原因)

- **本体の改造は絶対にしない**
  また、修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない (火災・感電・けがの原因)
  修理はお買いあげの販売店、または当社営業所にご相談ください。
- **排気口や吸込口** (8, 9ページ) **をふさいだり、金属や燃えやすい異物などを入れたりしない**
  また、吸込口をふさぐおそれのある物の近くでは使用しない
  (感電・発火・故障の原因)
- **火中に投入したり、加熱しない**
  また、火やストーブのそば・直射日光の当たる場所・炎天下の車内など高温の場所に置かない
  (ショート・発火・液漏れ・爆発の原因)
- **本体に物をかぶせない** (過熱して発火の原因)
- **直射日光を、本体に当てない**
  (赤外線センサ誤反応による誤作動や故障の原因)
- **本体の各センサ** (8, 9ページ) **をふさがない、異物を入れない**
  (動作不良・誤作動や故障の原因)
- **センサや車輪にシールやテープを貼らない**
  (誤作動や故障の原因)
- **本体に乗ったり、重い物を載せたり、強い衝撃を与えない**
  (けがをしたり、本体の破損・故障の原因)
  特にお子様にはご注意ください。
- **動作中は、駆動車輪に触れない**
  また、本体の下に手や足を入れない
  (手などにけがをする原因)
  特にお子様にはご注意ください。



- **子供だけで使用しない**
  - 自分で意思表示ができない人や、自分で操作できない人も使用しないでください。

  (感電・事故・けがの原因)
- **本体に、水や洗剤をかけたり、洗ったりしない**
  (回転ブラシ・回転ブラシカバー・サイドブラシ・ダストボックス・フィルタは除く)
  (感電やショート・発火の原因)
- **濡れた手でさわらない** (感電の原因)
- **センサウォールテープが汚れたり、はがれ、破れのある状態では使用しない**
  (事故・けがの原因)

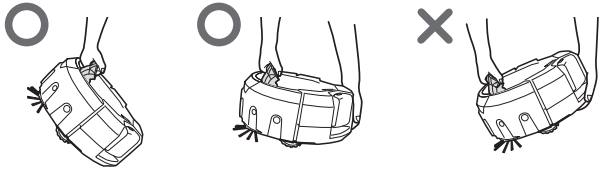
安全上のご注意 2

注 意　感電・火災・本体の故障・けがを防ぐために

ご使用時・お手入れ時は

- **すき間や開口部に異物を入れない**
- **毛足の長い(7mmを超える)じゅうたんなどの敷物の上では使用しない**
  (サイドブラシがからみついて、じゅうたんやサイドブラシを傷める原因)
- **傷みやすい敷物(ムートン・フェルト素材など)や床面(白木床面・大理石床面など)、ワックス塗りたての床面では使用しない**
  (破損・傷付きの原因)
  - 破損させた場合は使用を中止してください。

- **誤作動防止のため、各センサをお手入れする** 29ページ
  (誤作動・本体落下によるけがや故障の原因)
- **じゅうたん・マットなど敷物の長い飾り房は敷物の下に折り込む** 14ページ
  (駆動車輪や回転ブラシが飾り房を巻き込んで、敷物が破れたり、本体が破損する原因)
- **本体を運ぶときは、運転を停止させてから電源を切り、図のように持ち運び用ハンドルをしっかり持つ**
  また、ハンドルに手をはさまないよう注意する
  - 不用意に持ち上げないでください。
    (けがや故障の原因)
- **本体がコードやひもに引っ掛からないように、片付ける**
  (電源コード巻き込みなどによる故障や動作不良の原因)
- **お掃除の前に、壊れやすい物・倒れやすい物・吸い込まれると困る物は片付ける**
  また、長いひもやコード類は片付ける 14ページ
  (破損・傷付き・本体の故障の原因)



- 本体の前面を下に向けて持たないでください。開口部からゴミがこぼれることがあります。

お願い

電波に関する使用上のご注意

■ 電波に関する使用上のご注意

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵しています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
  また、本機は日本国内でのみ使用できます。
- 本機は、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本機を分解／改造すること。
  - 内蔵している無線モジュールに貼ってある証明ラベルをはがすこと。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

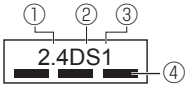
① 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

② 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するかまたは電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。

③ その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

お客様相談窓口　■ フリーダイヤル　0120-17-1197

- 本機に貼られているラベルの見かたは次のとおりです。



① 使用周波数帯域	2.4GHz
② 変調方式	DS-SS 方式
③ 想定干渉距離	10m以下
④ 周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

■ その他

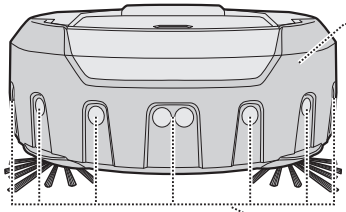
- 次の場所では使用しないでください。
  - 病院内や医療機器のある場所やその近くで使用しないでください。
  - 航空機内では使用しないでください。
  - 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しないでください。
    (ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、ペースメーカー、その他医用機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など)
- すべての環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
  次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたりすることがあります。
  - コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
  - 障害物の近くへの設置
  - 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
  - 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ

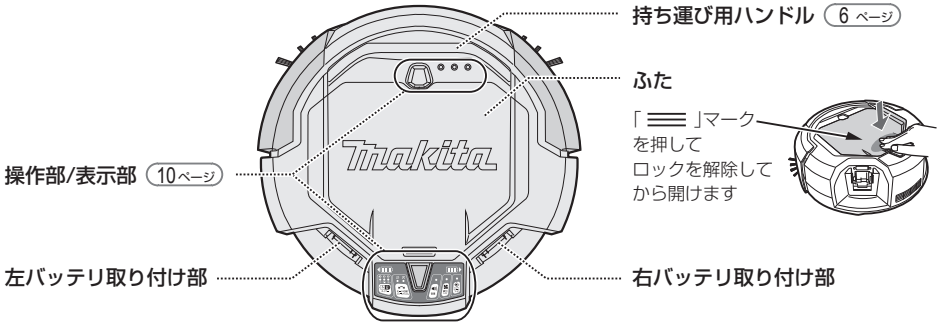
各部のなまえ・付属品

各部のなまえ

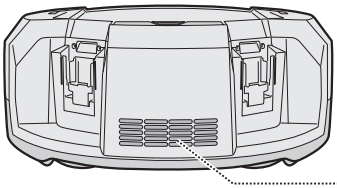
本 体

前 側



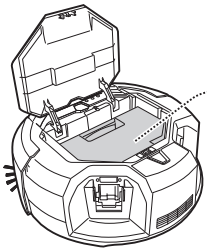


後 側



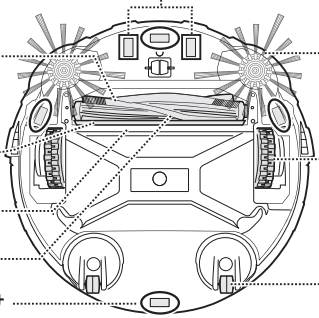
● 包装箱の中の本体・リモコン・付属品をご確認ください。

内部



ダストボックス
25, 26 ページ
• フィルタ内蔵

裏側



センサウォールセンサ

回転ブラシ
28ページ

起毛布（きもうふ）

回転ブラシカバー

吸込口

落下防止センサ
（ ⬭ 部：4カ所）

サイドブラシ
（左・右：2カ所）
11, 27 ページ

駆動車輪
（左・右：2カ所）

自在車輪
（左・右：2カ所）

リモコン 10, 11 ページ

表側　裏側

電池カバー
11ページ

本体の動きについて

超音波センサで障害物を検知し、障害物を避けながら走行します。

サイドブラシと回転ブラシでゴミを集めて吸い込みます。

(条件により、障害物を認識できない場合があります。障害物に当たった場合は、バンパーで衝撃を抑えます)

付属品

● サイドブラシ(4個)
11, 27 ページ
※2個は交換用

● サイドブラシ取り付け用ネジ(4個)
※2個は交換用

● 単4形乾電池(2本)

● センサウォールテープ(15m、1巻)

印刷物付属品(各1部)

● 取扱説明書(保証書付)
● クイックスタート
● ご使用例
● 営業所リスト

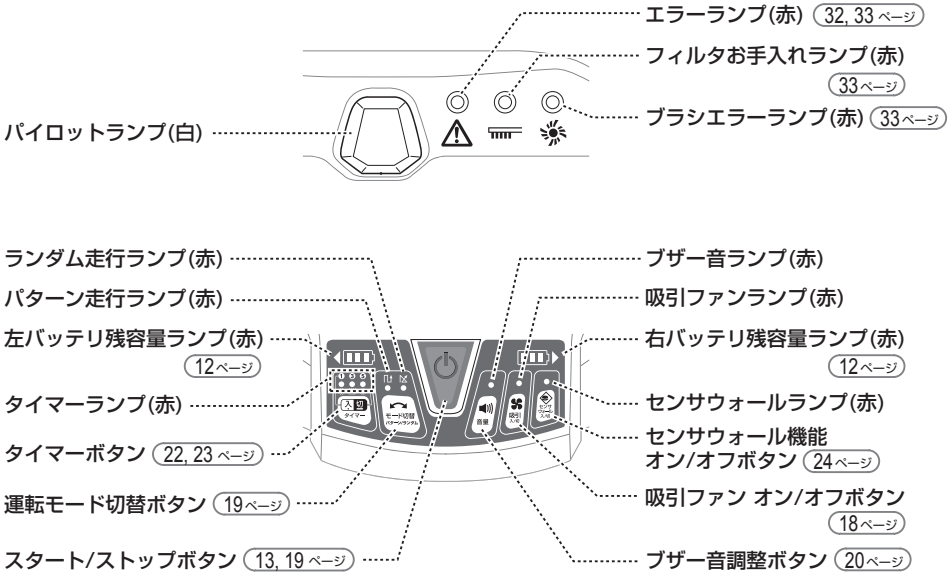
※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

操作部の見かた

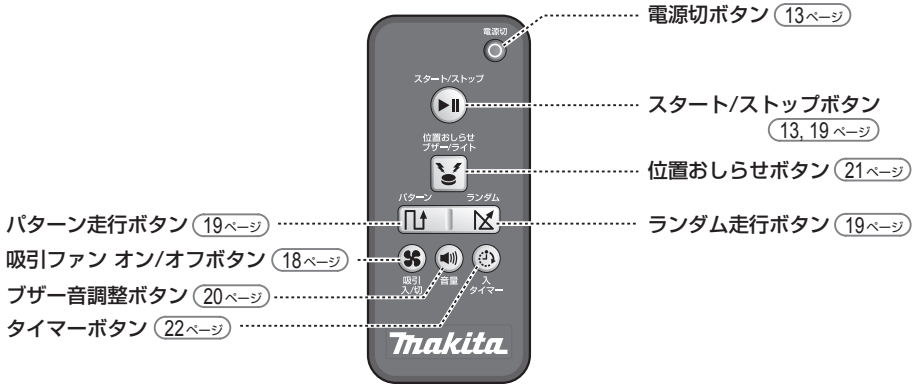
本体ボタンとリモコンで操作できます

本体ボタン/表示部

• (　)の色はランプの色です



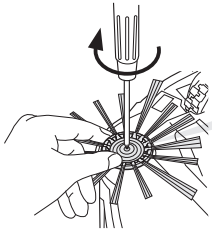
リモコン

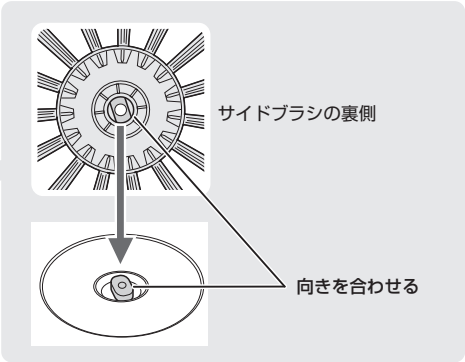


準備する 1

サイドブラシを取り付ける

① 本体にサイドブラシを取り付ける
② サイドブラシを指で押さえながら、付属のネジで固定する

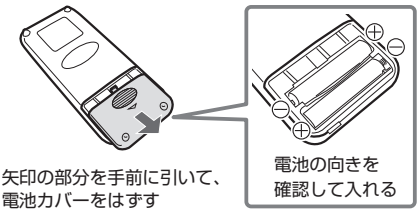




- 取り付け位置は、9 ページ を参照してください。
- 取り付け後、ブラシを軽く持ち上げて、本体からはずれないことを確認してください。

リモコンに電池を入れる

裏側の電池カバーをはずして、単4形乾電池を2本入れる



- 電池は2本とも新しい同じ種類の単4形乾電池を入れてください。
- 液漏れや破裂による故障防止のために、長期間使わないときは、電池を取り出してください。
- 電池の溶液が目に入ったり、お肌や衣服に付いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- リモコンに衝撃を与えたり水に濡らしたりしないでください。また、直射日光の当たる場所やストーブなどの近くには置かないでください。【故障の原因】

リモコン操作ができないときは以下の内容をご確認ください。

- 電池は入っていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？
- 電池の容量は充分に残っていますか？
  (交換の目安は約1年です。使用する電池や使用条件により、1年未満で消耗することがあります)
- リモコンと本体の距離が遠いため、電波が十分に届いていない可能性があります。
  リモコンと本体の距離を近づけるか、障害物がある場合は障害物を移動させるなどして、見通しをよくしてください。

準備する 2

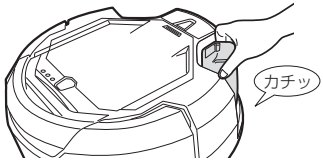
バッテリ(別販売品)を取り付ける

バッテリを取り付けるときは、
必ず本体の電源を切ります。

充電したバッテリを、バッテリ取り付け部の溝に合わせ、奥まで挿入する
(使用可能なバッテリについては表紙を参照)

バッテリを1個だけ取り付ける場合は、左右どちらの
バッテリ取り付け部に取り付けても動作します。

ボタン上部の赤色部が見えていたり、本体上面よりバッテリが
飛び出しているときは、完全にロックされていません。
奥まで確実に挿入すると「カチッ」と音がします。バッテリが完全に
ロックされていない状態で運転すると、事故や故障の原因となります。

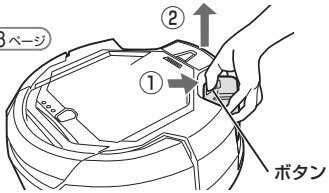


注 意

バッテリを取り付ける際は、本体とバッテリの間で指をはさまない
ように注意する【けがの原因】

バッテリの取りはずしかた

バッテリを取りはずすときは、必ず本体の電源を切ります。(13ページ)
① バッテリ正面のボタンを下げながら
② バッテリを持ち上げると取りはずせます。



バッテリ残容量ランプの見かた

バッテリの残容量に応じて点灯します。
左バッテリ残容量ランプ：左バッテリ取り付け部のバッテリの残容量
右バッテリ残容量ランプ：右バッテリ取り付け部のバッテリの残容量

左バッテリ残容量ランプ

右バッテリ残容量ランプ

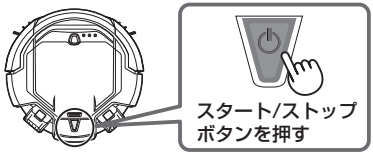
バッテリ残容量ランプの状態	バッテリの残容量
	約50%以上
	約20～50%
	約20%未満
	なし/バッテリ未装着
(点滅)	バッテリエラー

※電源が入っている状態で2つ目の
バッテリを取り付けても、バッテリ
残容量ランプは点灯しません。
電源を入れ直すと点灯します。

※残容量は目安であり、使用条件、
室温、バッテリの消耗状態により
異なる場合があります。

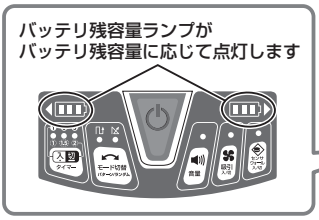
電源について

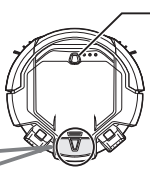
電源を入れる



スタンバイ状態

運転 (19ページ)・設定の変更ができます。





約5分間、操作をしないときは…

バッテリの消耗を抑えるため、
スリープ状態に入ります。

5分経過

スタンバイ状態 にするとき

本 体

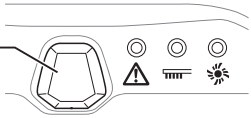
または

リモコン

スリープ状態

運転・設定の変更は
できません。

パイロットランプが
ゆっくり点滅します



電源を切る

作業終了時や保管時は、
電源を切ります。

本 体

2秒以上押す

または

リモコン

完全に電源が切れてすべての
ランプが消灯します。

お掃除の前にお読みください 1

スムーズにお掃除できるように片付けてください

⚠注 意

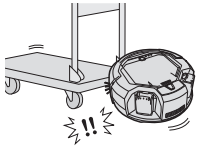
本体が接触して破損したり、事故をまねくおそれのある物は移動させる
吸い込まれると困る物、本体の移動を妨げる物、回転ブラシ・車輪・
サイドブラシに巻き込まれやすい物は片付ける【事故・けがの原因】

傷付きやすい材質でできた壁など(例：土壁・障子・ふすま・屏風など)は
本体が当たって、傷付けないように壁代わりになるものを前に置いてください。

不安定なものや倒れやすいものは
別の部屋に移動してください。本体が当たって転倒する場合があります。

本体と同じ高さに操作部がある設備や機器は
移動してください。(本体が当たって、操作部を押す場合があります)

火のついたろうそくや壊れやすい物は
テーブルなどの高い場所に置かないでください。
本体が接触した衝撃で落下する場合があります。
また、床にも置かないでください。



台車や車椅子などキャスター付きのものや、動きやすい軽い椅子などは
キャスターをロックするか片付けてください。
本体が当たって動かす場合があります。

電源コードは
本体が引っかからないように壁際に沿わせてください。

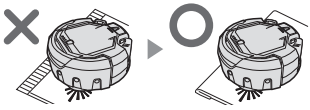
ひも・ベルトなど細長いものは
片付けてください。

吸い込まれやすい小物や高価なものは
片付けてください。

作業台・椅子・工具・板など、走行を妨げるものは
片付けてください。

動物などの排泄物や液体は
吸い込むと故障の原因になります。片付けてください。

マットなどの飾り房は
中に折り込んでください。



カーテンなど床に
垂れ下がった部分は
上げてください。
回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。

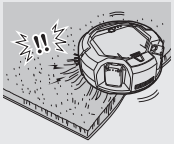
マット・じゅうたんなど、薄くて滑りやすい敷物は
本体が敷物を押して、敷物やサイドブラシを傷める場合があります。
片付けてください。

薄い紙や布・ビニール袋などは
片付けてください。
回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。

屋外に通じる場所では
本体が屋外に出ないよう、扉を閉めてください。
扉を閉められない場合は、使用しないでください。
また、本体を入れたくない部屋の扉も閉めてください。

次の場所では使用しないでください。
【敷物・床面の傷付き、本体の故障の原因】

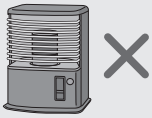
- **毛足の長さが7mmを超えるじゅうたんなどの敷物**
- **毛の抜けやすい敷物**
- **段差のある敷物**



これらの敷物では運転が停止したり、毛足がサイドブラシにからみつき、敷物やサイドブラシを傷めるおそれがあります。

上記以外の敷物でも本体がうまく走行できない場合は、その敷物での使用を控えてください。

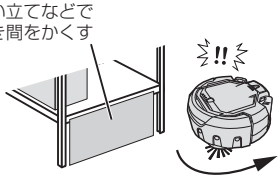
- **ふとん、毛布、座布団**など。
- **水まわり、トイレ、風呂場、屋根裏、屋外など。濡れた場所、また濡れるおそれがある場所や高温多湿の場所。**
- **暖房器具(ストーブ)など高温になるものの周辺。**
  運転中は暖房器具を使用しないでください。



- **収納式のコンセントを使っている場所。**
  収納式のコンセントは必ず収納してください。

本体の走行について

- 約1.5cmまでの段差を乗り越えることができます。
  約1.5cm以下でも、段差の形状など条件により乗り越えられない場合があります。
- スロープや段差のある場所では、本体の底面がひっかかってタイヤが浮き、エラーで停止することがあります。
  何度も停止する場合は、その場所に入らないようにしてください。
- 壁際に障害物がある場合、本体が障害物を避けようとして、壁際に乗り上げてしまうことがあります。
- 本体の高さより狭いすき間に入ると、はさまって動けなくなる場合があります。
  その場合は、すき間に入らないように、つい立てなどを設置してください。



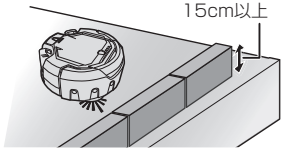
- 黒色の床面やガラスなどの透明な床面、フローリングの木目の黒い部分は、本体が段差と判断して、避ける動きをすることがあります。

- 以下の場所はゴミが吸えない場合があります。
  - 本体が入れない奥まった場所
  - 狭い場所
  - サイドブラシが届かない場所
- 条件により、ゴミが残る場合があります。
- 小石など、小さくてかたいものを運転中に飛ばすおそれがあります。

お掃除の前にお読みください 2

本体の落下にご注意ください

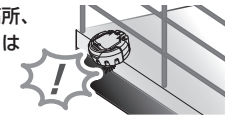
⚠注 意



落下を防ぐために、以下のようなことに注意する

【破損・けがの原因】

中二階やロフト、吹き抜け、囲いのない高所、10°以上のスロープのある場所でのご使用はお控えください

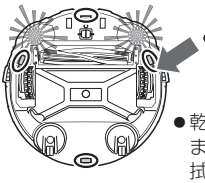


万が一本体が落下した場合は、破損・けがの原因になります。

落下によって事故などが発生する可能性のある場所には、高さ15cm以上の壁になるもの(本体が当たっても移動・転倒しないもの)を設置してください。

本体裏側の落下防止センサが汚れたり、結露などにより水滴の付着があるときは、拭いてください。

落下防止センサが汚れたり、水滴が付着していると落下する場合があります。



● 乾いた柔らかい布または綿棒などで拭いてください。

落下防止のため、本体の裏側に落下防止センサを内蔵していますが、以下のような場合は、本体が落下することがあります。

日光や赤外線が当たる場所は

日光や他の機器の赤外線が本体に当たると、避けようとして、後退しながら段差から落下する場合があります。

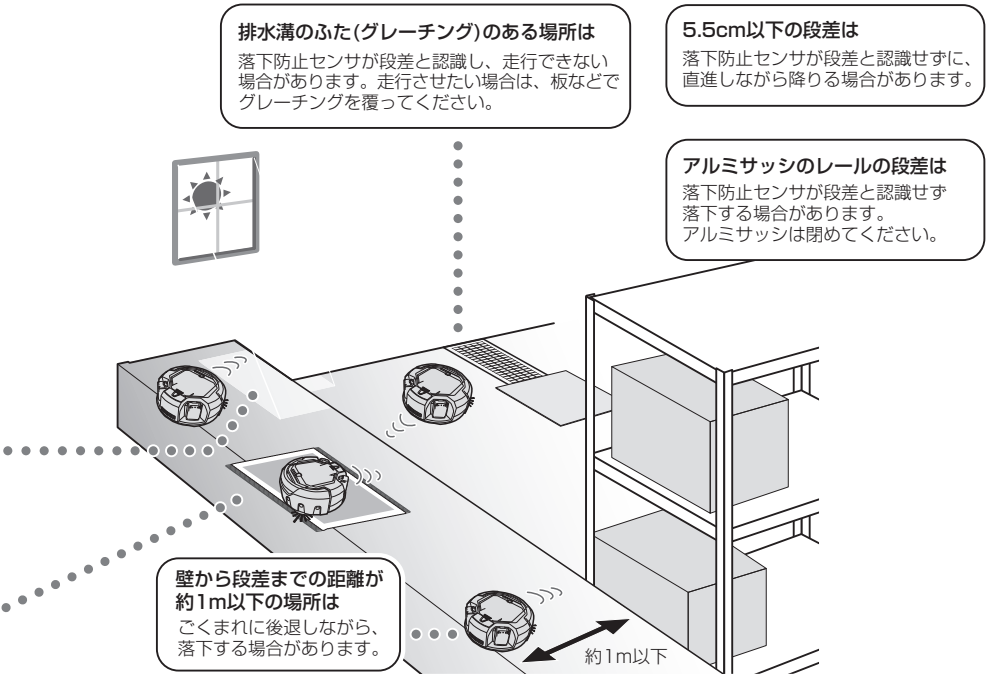
- カーテンなどで日光を遮ってください。
- ハロゲンヒーターやリモコン、センサなどの赤外線や、すりガラスから入る日光でも同様の動作をする場合があります。

段差付近にじゅうたん、マットや板などがある場合は

段差付近に敷物や板などがあると、落下防止センサが段差と認識せずに落下する場合があります。

取扱いについて

- **屋内でご使用ください。また、屋内であっても、粉塵の多い場所は、掃除しないでください**
- **表面がかたく、でこぼこした床は掃除しないでください**
  【ブラシ類・車輪類が早く摩耗する原因】
- **お掃除後、回転ブラシ・サイドブラシ・車輪類 (9ページ) に付いた砂ゴミは取り除いてください**
  【そのまま使用すると、床面を傷付ける原因】
- **回転ブラシ・回転ブラシカバーは必ず取り付けて使用してください**
- **回転ブラシなどの可動部分に注油しないでください**
  【プラスチックが割れる原因】
- **畳上で使用の際は、別販売品の「ソフト回転ブラシ」と「ソフトサイドブラシ」に付け替えることをおすすめいたします。(34ページ)**
  ただし、畳の状態によっては傷つきが発生する場合がありますので、その際は使用を中止してください。
- **本体を引きずらないでください**
  本体を持ち上げて移動させてください。
- **センサ部や車輪にシールやテープを貼ったり、バンパーや車輪類を変形させたり、バンパーを無理に押し付けたりしないでください** 【誤作動の原因】
- **細かい粉類**(石こう・セメント・チョークなど)**を吸わせた場合は、フィルタ (26ページ) および落下防止センサ、センサウォールセンサ (29ページ) をお手入れしてください。**
- **次の物は吸わせないでください**
  誤って吸い込んだ場合は運転を停止して、ゴミを捨ててください
  【本体内部の傷付きやゴミの詰まり・故障の原因】
  - 水分を含んだゴミ(液体や湿ったゴミ)
  - 動物などの排泄物・大量の砂や粉末・ひも類
  - 鋭利な物(ガラス・刃物・ピンなど)
  - 大きなゴミ・大量のゴミを一度に吸わせる
  - 通気性の悪い物
    (食品用ラップやビニール・包装用フィルムなど)



- **吸込口の起毛布・自在車輪・ 駆動車輪** (9 ページ) **が摩耗した場合は、使用を中止し、お買いあげの販売店、または当社営業所にご相談ください**
  【摩耗したまま使用すると、床面を傷付ける原因】
- **運転中、テレビの画面にノイズが発生することがありますが、テレビ本体に影響はありません**
- **セキュリティシステムなどが稼働しているところで運転させるときは注意してください**
  セキュリティシステムが、侵入者と誤検知する場合があります。
- **次のことはしないでください**
  - バッテリを取り付けた状態で長期間不使用
  - センサが汚れた状態、フィルタが目詰まりした状態での使用
  - バッテリの異常(異臭、液漏れ、発熱、変形、変色、その他異なること)に気づいたときの使用
  - 回転ブラシ、サイドブラシ、車輪類についた砂ゴミなどを取り除かずに使用
  - 各部部品が摩耗、消耗した状態での使用
  - 取扱説明書を読まずに使用
  - バッテリを取り付けたまま裏返したり、メンテナンスする
  - センサウォールテープのメンテナンスをせずに使用

掃除する 1

運転モードについて

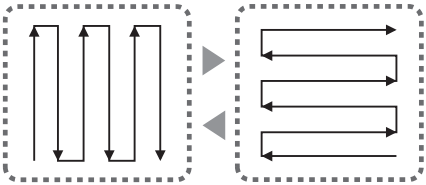
運転モード名	説 明
パターン走行モード	障害物の少ない広いスペースを掃除したいときに。 (例) 整理された倉庫、長い通路など
ランダム走行モード	障害物の多いところを掃除したいときに。 (例) オフィスなど

各運転モードの動きかたについて

パターン走行モード

左壁沿いの手前の位置からスタートさせると、効率よく掃除をすることができます。

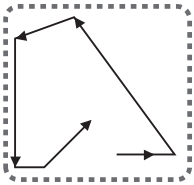
①最初に縦方向のジグザグ走行をします。
②次に横方向のジグザグ走行をします。
以降、縦方向と横方向のジグザグ走行を繰り返します。



※ 掃除する場所の形状、床面の状態、障害物の配置や形状などにより、走行の角度がずれる場合があります。特にじゅうたんの場合は、じゅうたんの目の影響によりずれが大きくなることがあります。その場合は、掃除を始める場所を変えるか、ランダム走行モードでお使いください。

ランダム走行モード

①直進をして壁(障害物)を見つけると方向転換し、再び直進します。(バウンド走行)
②一定時間が経過すると、約60秒間本体から見て右側の壁に沿って走行します。
以降、バウンド走行と壁沿い走行を繰り返します。



毛足が長いじゅうたんなど、回転ブラシへの負荷が大きい場合は、自動で回転ブラシの回転数を調整します。

吸引ファン オン/オフのしかた

吸引ファンのオン/オフを設定するときは、スタンバイ状態 (13ページ) **で以下の操作をおこなってください。**
目に見える大きなゴミだけを掃除する場合は、吸引ファンをオフにすることで運転時間を長くすることができます。(約2倍)

吸引ファンがオンのときは、
吸引ファンランプが点灯します。

吸引ファンがオフのときは、ゴミがいっぱいになってもフィルタお手入れランプは点灯しません。

運転のしかた

⚠注 意

パイロットランプの光を直接のぞき込んだり、目に当てない
【目に障害を与える原因】

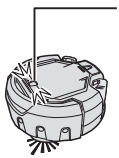
1 スタンバイ状態 (13ページ) になっていることを確認する

2 運転モードなどを選んでスタートする

操作内容	本 体	リモコン
① 運転モードを選ぶ	モード切替 パターン/ランダム	または
	選択した運転モードのランプが点灯します	パターン走行 ↓ ↑ ランダム走行
② 吸引ファンのオン/オフを選ぶ	(18ページ) を参照	
③ ブザー音の音量を設定する	(20ページ) を参照	
④ 運転スタート		

設定した内容は、次に設定を変更するまで記憶しています。

3 スタート操作を受け付けると、
運転をスタートします。



運転中は、ブザー音が鳴り、
パイロットランプが点滅

途中で運転を止めるとき

本 体 または リモコン

運転を途中で止めたあと、もう一度リモコンまたは、本体のスタート/ストップボタンを押すと、停止前と同じ運転モードで運転します。

4 バッテリの残容量がなくなると、その場で運転を停止します。
停止後は5分後にスリープ状態に移行します。
次の時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

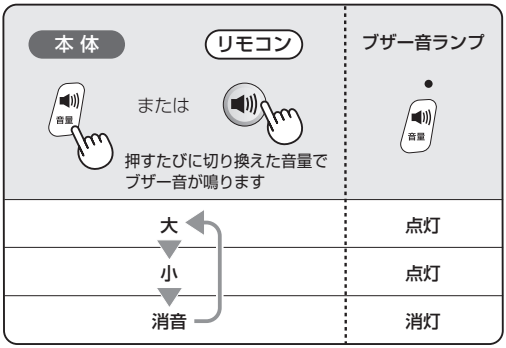
BL1830B 2個の場合　：約　60時間後
BL1850B 2個の場合　：約 100時間後

※ 電源が切れるまでの時間は、バッテリの状態、室温などにより異なります。

掃除する 2

ブザー音の音量設定のしかた

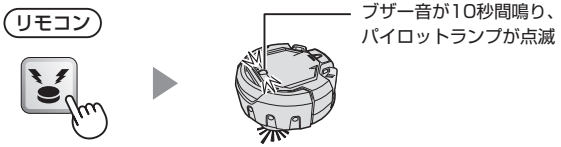
運転中のブザー音の音量を設定するときは、スタンバイ状態 (13ページ) で以下の操作をおこなってください。



位置おしらせ機能を使う

位置おしらせ機能の使いかた

リモコンの位置おしらせボタンを押すと、本体のブザー音が鳴ってパイロットランプが点滅し、本体の位置を確認することができます。



※位置おしらせを途中で止めるときは、もう一度位置おしらせボタンを押します。

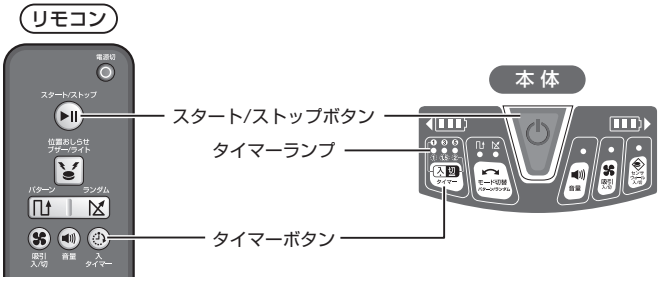
次の場合は、位置おしらせができません

- 電源が切れているとき
- バッテリ残容量がなくなったとき
- リモコンの電波が届かない位置に本体があるとき
- リモコンの電池が切れているとき

入タイマー・切タイマーを設

入タイマー設定(予約時間がくると選択した運転モードで自動で運転スタート)

スタンバイ状態 (13ページ) になっていることを確認してから、入タイマーを設定します。



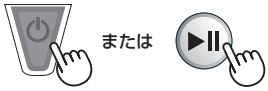
入タイマーの設定方法

① 運転モードを選択する (19ページ)
② スタート時間を選択する

入タイマー予約時間	本体 / リモコン 入切 タイマー または 押すたびに切り換わります	タイマーランプ
今から1時間後	○	1 2 5 点灯
今から3時間後	○	3 点灯
今から5時間後	○	1 3 5 点灯
予約解除	○	1 3 5 消灯

③ 入タイマー予約運転待ちモードにする

本体 / リモコン



スリープ状態 (13ページ) になり、スタート時間になったら運転をスタートします。

※入タイマー予約運転待ちモードを解除するときは、もう一度スタート/ストップボタンを押して、スタンバイ状態 (13ページ) にします。

- 本体でスタート時間をお知らせしないため、スタート時間をメモなどに書いておくことをおすすめします。
- 電源を切ったり、バッテリが完全に無くなった場合は、予約内容は解除されます。
- 左右のバッテリが両方とも残容量約20%未満のときは、入タイマー予約運転待ちモードにはできません。

入タイマー予約運転スタート時に以下の状態になっている場合は、入タイマー予約運転できません。

- 電源が切れているとき
- 左右のバッテリが両方とも残容量約20%未満のとき
  (入タイマー予約運転をする際は、バッテリを満充電にしておくことをおすすめします)

切タイマーに変更したいとき

2秒以上押す

(タイマーランプが点滅します)

定する

- 入タイマーまたは切タイマーを一度設定すると、次に設定を変更するまで記憶しています。
- 入タイマーと切タイマーは、どちらか一方だけ設定できます。

切タイマー設定(切タイマーの予約時間がくると自動で運転停止)

スタンバイ状態 (13ページ) になっていることを確認してから、切タイマーを設定します。

切タイマーの設定方法

① 切タイマー設定モードにする

2秒以上押す

●タイマーランプが点滅します。

② 切タイマー時間を設定する

切タイマー予約時間	入 切 タイマー 押すたびに切り換わります	タイマーランプ
運転開始から1時間後	○	1 1.5 2 点滅
運転開始から1.5時間後	○	1 1.5 2 点滅
運転開始から2時間後	○	1 1.5 2 点滅

切タイマー設定を解除したいとき

タイマーボタンを2秒以上押す

(タイマーランプが消灯します)

切タイマー設定と入タイマー設定を切り換えるとき

タイマーボタンを2秒以上押すたびに切り換わります

切タイマー設定
(タイマーランプが**点滅**します)

入タイマー設定
(タイマーランプが**消灯**します)

本体またはリモコンのスタート/ストップボタンを押して運転をスタートすると、切タイマーの予約時間がくると自動で運転を停止します。

- **リモコンで切タイマー設定はできません。**本体のタイマーボタンで設定してください。
- 電源を切ったり、バッテリが完全に無くなった場合は、予約内容は解除されます。
- バッテリ残容量が少ないときは、切タイマー設定時間よりも前に運転を停止する場合があります。

切タイマー設定の掃除面積目安

1時間：150m²
1.5時間：225m²
2時間：300m²

センサウォール機能を使う

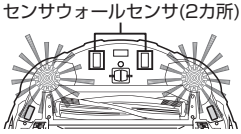
走行エリアを制限する

センサウォールテープを床面に貼って境界線を作ると、走行するエリアを制限することができます。
(壁を見つけたときと同様に動作)

⚠注 意

侵入や落下によって事故などが発生する可能性のある場所との境界線としては使用しない【事故・けがの原因】
このような場所には、高さ15cm以上の壁になるもの(本体が当たっても移動・転倒しないもの)を平面に設置してください。

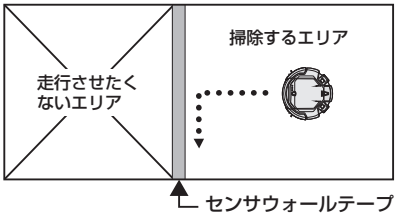
本体裏側のセンサウォールセンサが汚れたり、結露などにより水滴の付着があるときは、乾いた柔らかい布または綿棒などで拭いてください。



- 乾いた柔らかい布または綿棒などで拭いてください。

次のような場合に、センサウォール機能を使って侵入禁止区域を設定します。

- 一度に清掃できない広いスペースを複数に分けて清掃したいとき
- 入ってほしくない場所があるとき
- 本体が入り込んで抜け出せなくなる場所があるとき
- 低い段差を越えて落ちてしまうときや、段差の途中に引っかかってしまうとき
- 階段付近を掃除するとき



- **センサウォールテープを貼る前に、床面の汚れを拭き取ってください。汚れた床面に貼ると、テープ剥がれの原因になります。**
- **できるだけ平らな床面に気泡やしわが入らないように貼ってください。テープに凹凸ができると、テープを正しく認識しない原因になります。**
- **テープは純正品であることを確認してください。純正品ではない場合、性能や安全性を保証できかねます。**
- **床面によっては、粘着剤が残留したり、表面がくもったり、傷ついたりする場合がありますので、充分に確認のうえご使用ください。**
- **床面や使用環境によっては、センサが誤認識しやすい場所や、テープの汚れや破れが発生しやすい場合がありますので、充分に確認のうえご使用ください。**

- **センサウォール機能は、テープを赤外線センサで認識しています。**
  テープに汚れ、破れ、浮きなどがある場合、テープを認識できない場合があります。
- **センサウォールテープの汚れ、破れ、はがれなどがないか定期的に確認してください。**
  水または薄めた中性洗剤で汚れを拭き取ってください。破れなどがある場合は、新しいものを貼り直してください。
- **扉やシャッター枠がセンサウォールテープに近い色の場合、機能が働く場合があります。**
  機能させたくない場合は、その他色のテープを貼り付けして下さい。

センサウォール機能をオンにする

センサウォール機能を使うときは、スタンバイ状態 (13ページ) **で以下の操作でオンにしてください。**

センサウォール機能がオンのときは、センサウォールランプが点灯します。

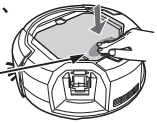
ゴミを捨てる

ゴミを捨てる

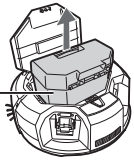
警告

お手入れ時は必ず本体の電源を切り、バッテリをはずす
【感電・けがの原因】

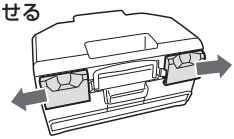
1 本体ふたの「 ═══ 」マークを押してロックを解除してから、ふたを持って開ける



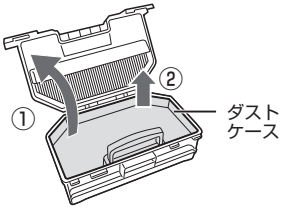
2 ダストボックスを取り出す



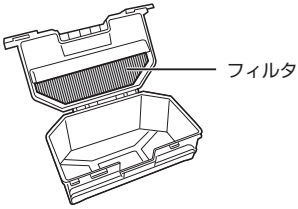
3 レバーを「🔓」マークの位置にスライドさせる



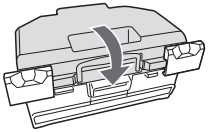
4 ふたを開けてダストケースを取り出す



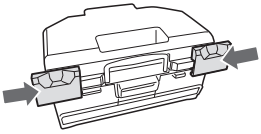
5 ダストケースとダストボックスのゴミを捨てて、フィルタのゴミやほこりを取る



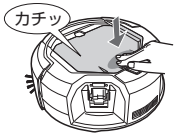
6 ダストケースを元に戻し、ふたを閉める



7 レバーを「🔒」マークの位置にスライドさせる



8 ダストボックスを本体に入れて、ふたを閉める



掃除が終わったら

毎回ゴミを捨ててフィルタをお手入れしてください。

- ゴミを捨てずにそのままお掃除を続けると、フィルタが目詰まりして吸込力が弱くなります。

ご注意

- ダストボックス、フィルタは正しく取り付けてください。
- 必ず、ロックを解除してから本体ふたを開けてください。ロックを解除せずに、無理に開けるとロックが故障します。
- ダストボックスの開口部を下に向けて持たないでください。開口部からゴミがこぼれることがあります。

お手入れする 1

ダストボックス・フィルタ

警告

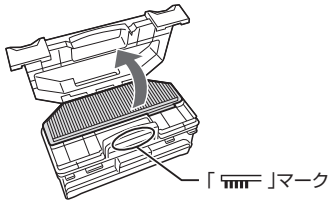
お手入れ時は必ず本体の電源を切り、バッテリをはずす
【感電・けがの原因】

吸込力が弱くなったときや、汚れが気になるとき　フィルタをはずして水洗いできます。

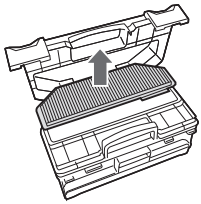
- 新聞紙などを敷いてお手入れしてください。
- 薬剤・お湯(約40℃以上)などを使用しないでください。

フィルタをはずす

① ふたを開ける
「 」マークを押さえながらふたを開ける



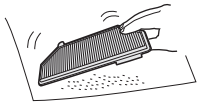
② フィルタをダストボックスからはずす



お手入れする

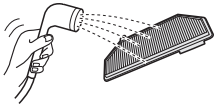
フィルタ

軽くたたいてゴミやほこりを落とす



- フィルタを強くこすらない、指で押さない。
  先のとがった物(つまようじなど)は使わない。【破損の原因】

吸込力が弱い場合は水洗いする

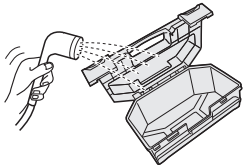


- ニオイが気になる場合は、衣類用漂白剤10mLを水1Lで薄めた液に約3時間つけたあと、水洗いする。

ダストボックス

ゴミを取る

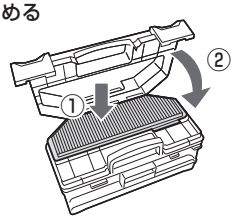
汚れが気になる場合は、水または薄めた中性洗剤で洗う

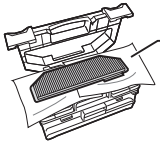


洗ったあとは風通しの良いところで充分に陰干しする　(乾燥時間の目安：1日)
【水分が残ったまま使用すると、ニオイの発生や故障の原因】・ドライヤーなどで乾燥しないでください。

付ける

① フィルタをダストボックスに取り付け、
② ふたを閉める





ティッシュペーパーをはさむと、フィルタにゴミが付きにくくなります。

- ぬれたティッシュペーパーは使えません。
- ゴミを捨てるたびに、新しいティッシュペーパーに交換してください。

お手入れの前に

サイドブラシ・回転ブラシ・本体・車輪類 27～29ページ を
お手入れする前に必ず、お読みください。

本体の裏側をお手入れする場合は、本体や床面に傷が
付かないよう、マットなどを敷いてください。

- 本体を裏返す前に、ダストボックスを取り出してください。
  取り出さないと開口部からゴミがこぼれることがあります。
- 裏返した状態で本体の裏側を強く押さえないでください。
  強く押すと、ロックが解除されて本体ふたが開くことがあります。

⚠ 警告

お手入れ時は必ず本体の電源を切り、バッテリをはずす
【感電・けがの原因】

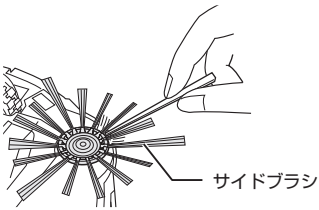
サイドブラシ　エラー表示が出たり、ゴミや毛がからみ付いたとき

サイドブラシの毛が曲がったり、抜けてきたら、新しいものに交換してください。34ページ

お手入れする

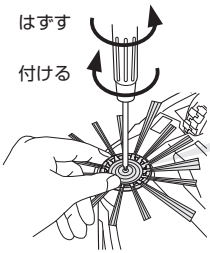
サイドブラシに付いたゴミをピンセットなどで取り除く

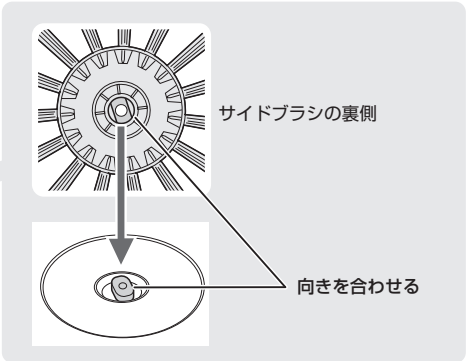
※サイドブラシが回らない、または回りにくい場合は、
サイドブラシをはずし、からみ付いた髪の毛やゴミを
取り除く



はずす・付ける（交換する）

① サイドブラシのネジをプラス
ドライバーではずす
② 新しいサイドブラシを、指で
押さえながら、付属のネジで
取り付ける





- 取り付け後、ブラシを軽く持ち上げて、
  本体からはずれないことを確認して
  ください。

お手入れする 2

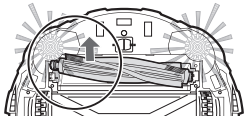
回転ブラシ エラー表示が出たり、糸くず･輪ゴム･毛髪･動物の毛などがからみ付いたとき

ブラシ部分が摩耗したら、新しいものに交換してください。(34ページ)

はずす

① プラスドライバーでネジ(4個)をはずし、回転ブラシカバーをはずす

② 回転ブラシを左側からはずす



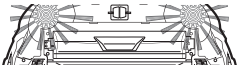
お手入れする

からみ付いた毛髪や糸くずなどはハサミで切り取る

○：水洗い可

水または薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取る
シンナー・ベンジン類は使わない【変質や変色の原因】

○：水洗い可

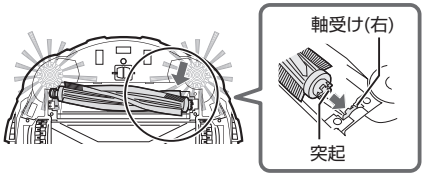


×：水洗い不可

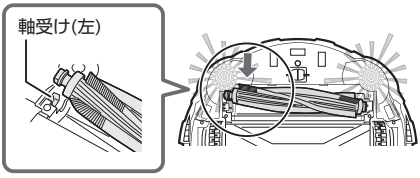
水洗い後は風通しの良いところで充分に陰干しする
【水分が残ったまま使用すると、ニオイの発生や故障の原因】

付ける

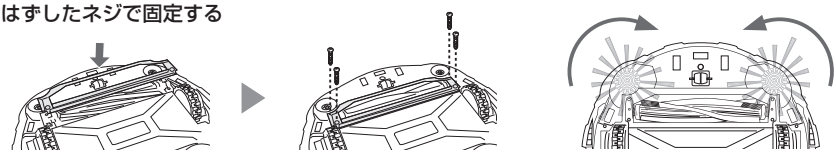
① 回転ブラシの突起のある軸を、本体の軸受け(右)の凹部に合わせて差し込む



② もう一方の回転ブラシの軸を、軸を回して向きを合わせ本体の軸受け(左)に差し込む



③ 回転ブラシカバーを元の位置に取り付け、はずしたネジで固定する



サイドブラシを回転ブラシカバーにはさみ込まないようにご注意ください。
一度サイドブラシの片側を取りはずすか、サイドブラシを図の方向に回転させながら回転ブラシカバーを取り付けると、はさみ込みにくくなります。

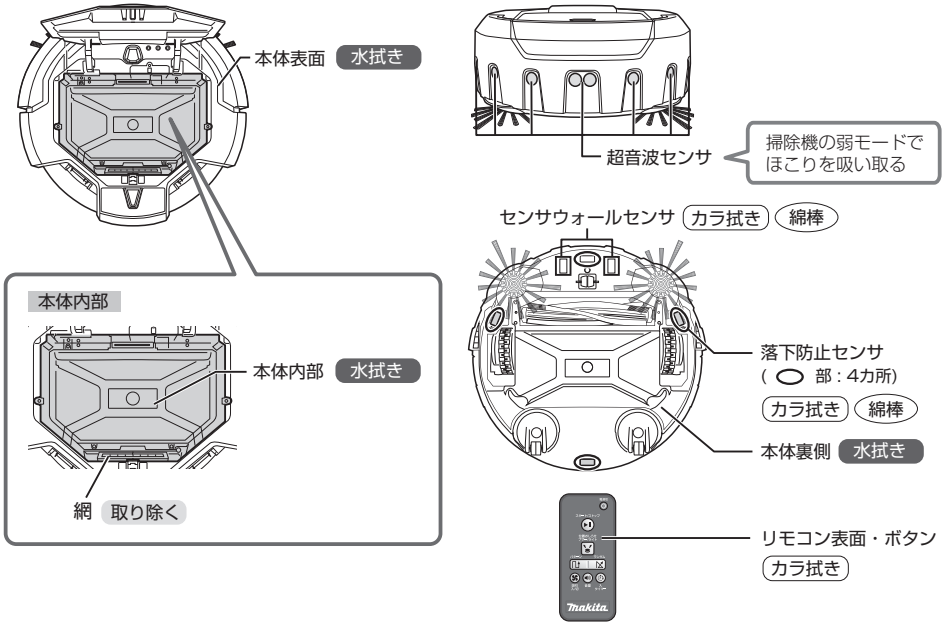
本体 汚れが気になるとき

マークの意味に従って各部のお手入れをしてください

- 水拭き　水または薄めた中性洗剤で汚れを拭き取る。
- カラ拭き　乾いた布で汚れを拭き取る。
- 取り除く　付着した異物を取り除く。
- 綿棒　細かい所は綿棒などで汚れを取り除く。

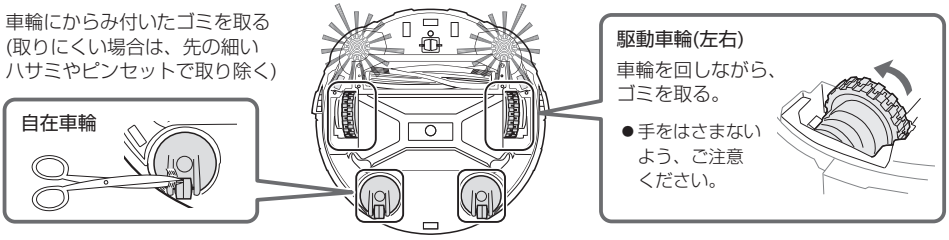
お願い

- 「お手入れの前に」27ページを必ず読んでから、お手入れしてください。
- シンナー・ベンジン類は使用しないでください。【変質や変色の原因】
- 先のとがったもの(つまようじなど)は使用しないでください。【破損の原因】



車輪類 ゴミや毛がからみ付いたとき

車輪にからみ付いたゴミを取る
(取りにくい場合は、先の細い
ハサミやピンセットで取り除く)



こんなときは?

修理のご依頼やお問い合わせの前に、
下記内容をお調べください。

	こんなとき	お調べください	参照ページ
電源	を押しても電源が入らない・ランプがつかない	●バッテリを正しく取り付けていますか。 取り付けを確認してください。	12
		●バッテリ残容量がなくなっていませんか。残容量を確認してください。	—
	本体やリモコンのボタンを押しても何も反応しない	●本体の電源が切れていませんか。 本体のスタート/ストップボタンを押して、電源を入れてください。	12
運転動作	運転しない	●エラーランプが点滅していませんか。エラー中は運転しません。	32
		●入タイマー予約運転待ちモードになっていませんか。予約運転待ちモードのときは、電源を切る、位置おしらせ以外の操作はできません。	22
	操作をしていないのに突然動き出す	●入タイマーを設定していませんか。	22
	運転中に止まる	●本体がコードなどに引っ掛かっていませんか。また、薄いタオルなどの布やひもなどが、車輪類に巻き付いていませんか。 本体の電源を切り、本体に引っ掛かった物や、車輪類に巻き付いた物をはずしてください。	29
		●本体が段差を乗り越えられずに止まっていませんか。 本体を別の場所に移してください。	15
		●切タイマーを設定していませんか。	23
	速度が変化する	●センサが障害物を検知したり、走行方向の判断をするときに、速度を落とすことがあります。異常ではありません。	—
	まっすぐ進まない	●車輪類に異物がはさまっていませんか。本体の電源を切り、車輪類の異物を取り除いてください。	29
		●超音波センサが汚れていませんか。お手入れしてください。	29
	以前に比べて障害物に衝突することが増えた	●超音波センサが汚れていませんか。お手入れしてください。	29
	段差を回避できずに落下する	●落下防止センサが汚れていませんか。お手入れしてください。	29
		●5.5cm以下の段差は降りることがあります。故障ではありません。	16
	運転音がいつもより大きい	●ダストボックスがゴミでいっぱいになっていませんか。 フィルタは、目詰まりしていませんか。 ゴミを捨ててお手入れしてください。	25,26
		●回転ブラシやサイドブラシにゴミがからみついていませんか。 お手入れしてください。また確実に取り付けていますか。	27,28
	吸込力が弱い ゴミを吸わない	●ダストボックスがゴミでいっぱいになっていませんか。 フィルタは、目詰まりしていませんか。 ゴミを捨ててお手入れしてください。	25,26
		●吸引ファンがオフになっていませんか。 設定を確認してください。	18
	サイドブラシがはずれる	●サイドブラシを正しく取り付けていますか。 取り付けを確認してください。	27

	こんなとき	お調べください	参照ページ
運転動作	サイドブラシが回らない、回りにくい、からみつく	●サイドブラシや回転ブラシに異物(糸くず・毛髪など)がからみついていませんか。お手入れしてください。また、回転ブラシと回転ブラシカバーを確実に取り付けているかもご確認ください。	27,28
		●毛足の長さが7mmを超える敷物の上では使用できません。 また、長さが7mm以下でも、毛足の材質などによっては運転が停止したり、毛足がサイドブラシにからみつくことがあります。	15
	排気がにおう	●湿ったゴミやニオイがするゴミを吸い込んでいませんか。 ゴミを捨ててください。	25
		●フィルタが目詰まりしてませんか。お手入れしてください。 水洗いした場合は充分に乾かしてからご使用ください。	26
リモコン操作	リモコン操作ができない	●リモコンに電池を正しく入れていますか。 • 電池の向きは合っていますか	11
		●リモコンを操作してもときどき反応しなくなったときは、電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。	11
		●本体の電源が切れていませんか。 本体のスタート/停止ボタンを押して、電源を入れてください。	12
		●リモコンと本体の距離が遠いため、電波が十分に届いていない可能性があります。リモコンと本体の距離を近づけるか、障害物を移動させるなどして、見通しをよくしてください。	11
		●以下のような2.4GHz帯の電波を使用する機器が近くで動作しているときは、本体とリモコンを遠ざけるか、これらの機器の使用を一時的に中断してください。 • 電子レンジ • Bluetooth® 対応機器 • 無線LAN 機器 • その他、2.4GHz帯の電波を使用する機器(デジタルコードレス電話機、ゲーム機など)	—
		●リモコンを新しいものに交換したときは、下記の手順で本体とペアリングしてください。 ①本体のタイマーボタンと運転モード切替ボタンを同時に長押しする ②リモコンのタイマーボタンと位置おしらせボタンを同時に長押しする ペアリング中は短いブザー音が2回鳴り、完了すると1回鳴ります。 連続して5回鳴ったときはペアリングをやり直してください。	—
		●上記の内容を調べてもリモコンで操作ができない場合は、本体の電源を切ってから、もう一度入れてください。	13
入タイマー予約運転	設定した時間に入タイマー予約運転をしていない	●入タイマー予約運転スタート時に以下の場合は、入タイマー予約運転をしません。 • 電源が切れているとき • 左右のバッテリが両方とも残容量20%未満のとき	22
		●タイマーランプは点灯していますか。予約設定後、電源を切ったり、バッテリ残容量が完全になくなった場合は、タイマーランプが消灯します。	22

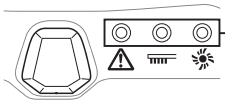
Bluetooth®は、Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

お知らせ表示

修理のご依頼やお問い合わせの前に、
下記内容をお調べください。

お知らせ表示とエラー解除のしかた

エラーのお知らせが出たら



これらのランプが
点滅または点灯し、
ブザー音でお知らせ

運転が停止します。
右記の操作でエラーを解除してから、ご使用ください。
(電源を切ったり、バッテリ残容量がなくなると
エラーを解除します)
※ 5分後にスリープ状態になり、ブザー音は止まります。
(ランプの状態は維持)

エラー状態からスタンバイ状態への戻しかた

原因を取り除いてから
(スリープ状態のときは、下記ボタンを押して
エラー状態に戻してから)

お知らせ表示が
消えて、
スタンバイ状態
に戻る

お手入れなどのお知らせが出たら

運転はできますが、正しく動作しない場合があります。原因を取り除いてから、ご使用ください。

エラーのお知らせ

お知らせランプ	お知らせ内容	説 明
1回、2回、6回のいずれかの点滅を繰り返す	**脱輪、本体浮き上がり、落下防止センサのエラー**	● 駆動車輪が脱輪したり、段差に乗り上げていませんか。 ● 本体が移動中に立ち往生していたり、段差に乗り上げていませんか。または本体に直射日光が当たっていたり、本体が黒い床面の上にありませんか。 本体を別の場所に移動してください。(15ページ) ● 別の場所に移動してもお知らせ表示が出る場合は、落下防止センサの汚れを乾いた柔らかい布や綿棒などで軽く拭き取ってください。(29ページ)
3回点滅を繰り返す	**バンパーセンサのエラー**	● バンパーセンサの誤作動です。 バンパー (8 ページ) を手で10回ほど押してください。
4回点滅を繰り返す	**駆動車輪のエラー**	● 駆動車輪に糸くずや毛髪などの異物がからみついていませんか。異物を取り除いてください。 ● 本体が低いすき間を通るとき、すき間に挟まってお知らせを表示する場合があります。 故障ではありません。
5回または7回点滅を繰り返す	**吸引モーター/本体のエラー**	● 温度の高い環境で使用していませんか。 電源を切り1時間ほどしてから、もう一度電源を入れて室温40℃以下の場所で使用してください。

● 原因を取り除いても運転ができない場合は、電源を切ってから、もう一度入れ直してください。
同じお知らせ表示が繰り返し出る場合は、お買いあげの販売店、または当社営業所に修理をご相談してください。

お知らせランプ	お知らせ内容	説 明
1回点滅を繰り返す	**ダストボックス、フィルタの未検知**	●ダストボックスまたは、フィルタが入っていません。 正しく取り付けているか確認してください。 25, 26 ページ
1回点滅を繰り返す	**入タイマー予約運転時のバッテリ残容量不足**	●バッテリ残容量が約20%未満だったため、入タイマー予約運転をスタートできませんでした。 入タイマー予約運転スタート時は、満充電にしてください。
点灯	**駆動車輪のエラー**	●駆動車輪に糸くずや毛髪などの異物がからみついていませんか。異物を取り除いてください。 ●本体の高さより狭いすき間にはさまると、お知らせを表示する場合があります。 故障ではありません。
点灯	**センサのエラー**	●いずれかのセンサに不具合が発生しました。 電源を切ってから、もう一度入れ直してください。
点灯	**本体のエラー**	●本体にエラーが発生しました。 電源を切ってから、もう一度入れ直してください。
1回点滅を繰り返す	**回転ブラシ/サイドブラシのエラー**	●回転ブラシやサイドブラシに糸くずや毛髪などの異物がからみついていませんか。 異物を取り除いてください。27, 28 ページ

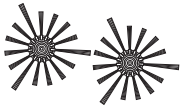
お手入れなどのお知らせ

お知らせランプ	お知らせ内容	説 明
点灯	**ダストボックス満量/フィルタのお手入れ必要**	●運転スタート時/入タイマー予約運転スタート時に、ゴミがたまっていたり、フィルタが目詰まりしていました。ゴミを捨てて、フィルタをお手入れしてください。

●原因を取り除いても運転ができない場合は、電源を切ってから、もう一度入れ直してください。
同じお知らせ表示が繰り返し出る場合は、お買いあげの販売店、または当社営業所に修理をご相談してください。

別販売品のご紹介

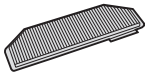
- バッテリBL1830B (容量3.0Ah)　部品番号 A-60442
- バッテリBL1850B (容量5.0Ah)　部品番号 A-59900
- バッテリBL1860B (容量6.0Ah)　部品番号 A-60464
- センサウォールテープ (15m巻)　部品番号 A-59461
- サイドブラシ (2個入)　部品番号 A-59520
- ソフトサイドブラシ (2個入)　部品番号 A-65894
  (通常のサイドブラシより柔らかいブラシで
  畳でも使用可能です)



- 回転ブラシ　部品番号 A-69141

- ソフト回転ブラシ　部品番号 A-69135
  (通常の回転ブラシより柔らかいブラシで
  畳でも使用可能です)
- カーペット用回転ブラシ　部品番号 A-69711
  (通常の回転ブラシより短いブラシで
  密度が高いカーペットにも使用可能です)
- 回転ブラシカバー　部品番号 A-69157

- フィルタ　部品番号 A-59651



バッテリについて

- お買い上げ時は、バッテリは充分に充電されていないため、バッテリ保護機能が働いている場合があります。
  (ボタンを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください)
  ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリを長持ちさせるには

- 本機の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
  満充電したバッテリを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲でおこなってください。
- 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- 長期間(6カ月以上)ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから、保管することを
  おすすめします。

バッテリの回収について

- 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。
- お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警 告

バッテリは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- **差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。**

保守・点検について

⚠ 警 告

点検・整備・保管の際には必ず電源を切り、本機よりバッテリを抜いてください。
• バッテリを本機に差し込んだままおこなうと、事故の原因になります。

⚠ 警 告

本機にバッテリを差し込む際は、各ボタンを押さないでください。
• 各ボタンを押したままバッテリを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

仕 様

バッテリ (別販売品)	18Vリチウムイオンバッテリ		
	BL1830B (容量3.0Ah)	BL1850B (容量5.0Ah)	BL1860B (容量6.0Ah)
連続使用時間※ (バッテリ2個取付時)	約120分	約200分	約240分
集じん容積	2.5L		
本体寸法	幅460mm×奥行460mm×高さ180mm		
質量	7.8kg (BL1830B 2個取付時)		

（ ●本機は日本国内向け仕様です。海外ではご使用できません。）

※ 吸引ファンオンで、Pタイルなどの平滑な床で使用した場合。
使用時間は、運転する場所の状況、床面の種類、バッテリの状態、室温などにより異なります。
また、低温環境ではリチウムイオン電池の特性上、使用時間が短くなることがあります。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

Printed in Thailand
TINSJA664VBRZ 19K－①